



2023年5月30日

各 位

会社名 京福電気鉄道株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大塚 憲 郎  
(コード番号 9049 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理部長 藤 木 齊  
(TEL 075-841-9385)

「京福グループ中期経営計画 2025」(2023年度～2025年度)の策定等について

当社では、2023年5月30日開催の取締役会において、「京福グループ中期経営計画 2025」(2023年度～2025年度)および2030年度の経営目標について決議しましたので、お知らせいたします。

京福グループは、2019年に中期経営計画(目標年次:2023年度)を策定し、各施策を進めておりましたが、新型コロナの影響により2021年にその打ち切りを余儀なくされました。しかしながら、激変した経営環境のもと、これに柔軟に順応すると同時に経営基盤の再構築に注力することにより、2022年度における営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも過去最高となりました。

足元では経済活動の正常化の動きが見られ、インバウンドの本格回復も見込まれるようになりました。他方で、コロナ禍を経て、お客さまの価値観や消費動向について不可逆的な変化も生じております。さらに、京福グループの事業エリアである京都エリアについては、今後インバウンドを中心に観光客の回復が大幅に進むことが見込まれるほか、福井エリアでは2024年に北陸新幹線が延伸開業されます。加えて、2025年に大阪・関西万博が開催されることに伴って、新たなお客さまの流れが生じることとなります。

京福グループは、これらの動きを的確にとらえることで確実に成長を続けるとともに、これまで培ってきた地域の皆さまとの関係をベースとした事業基盤を一層強固なものとする事により、これからも安定して株主さま、お客さま、地域の皆さまから支持していただける企業集団として、永続していくことを目指してまいります。

## 1. これまでの計画および成果（振り返り）

### （1）2019年6月策定「京福グループ中期経営計画2023」

- ・基本方針 成長戦略と基盤整備により、京福グループのさらなる成長を図る
- ・定量目標（2023年度）  
営業収益140億円、ROE 8%以上、有利子負債/EBITDA倍率 4倍前後

### （2）2021年5月策定「京福グループにおける今後の事業の方向性について」

- ・基本方針 新型コロナにより経営環境が劇的に変化したため、中期経営計画は打ち切り、経営基盤の再構築を図る
- ・定量目標 2023年度収支および財務状況について2018年度並みまでの回復を目指す

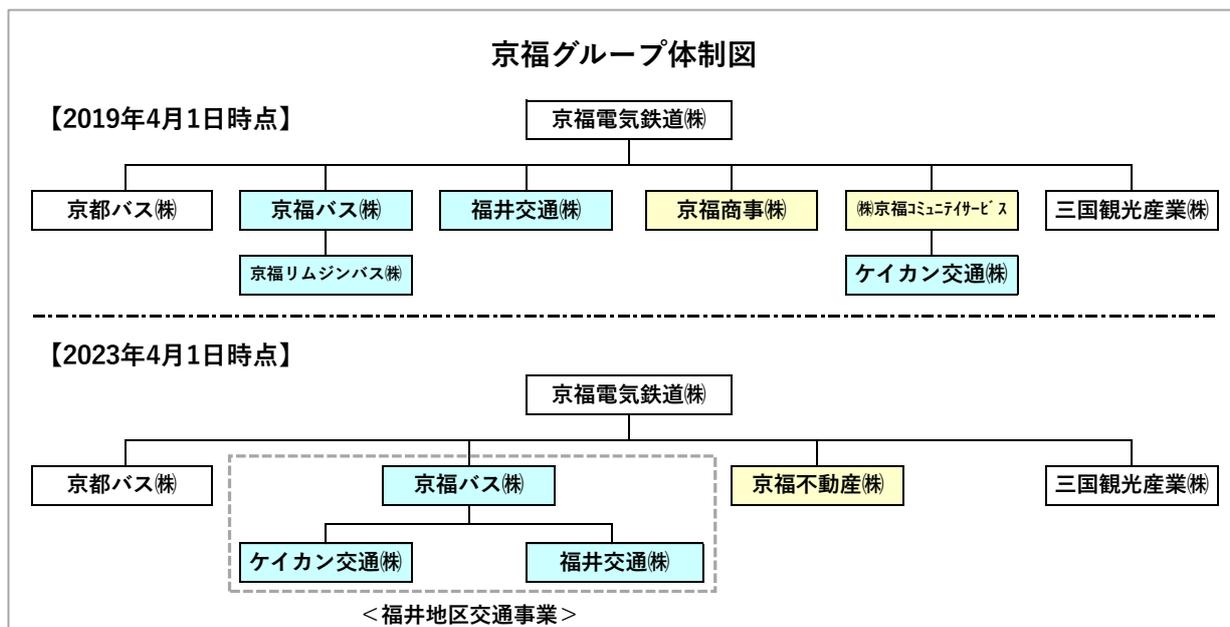
### （3）主な取り組み実績

#### ①安全・安心に関する取り組み

- ・北野白梅町駅の全面リニューアル（2021年3月）
- ・嵐山線各駅のバリアフリー化 全22駅中19駅が完了（2022年度末時点）
- ・北野線「行き違い設備」の更新（2021年度）
- ・嵐山線車両への回生ブレーキ取り付け（2両、2022年度）
- ・リアルタイム混雑情報提供システム「京都バスナビ」の開設（2023年3月）
- ・京福バスが「ふくいMaaS協議会」設立に際し交通事業者として参画、行政や地域の交通・商業・観光関係者と連携（2022年5月）
- ・ボートレース三国（競艇場）耐震工事の施工（2023年3月）

#### ②構造改革に関する取り組み

- ・京都バス嵐山整備工場、高野営業所・整備工場の建て替え（2020年1月～2023年3月）
- ・京都バスの一部路線で京都市バスとの共同運行実施（2022年3月）
- ・乗合バス・貸切バス・タクシー事業の拠点統合（京福バスグループ、2020年6月）
- ・拠点統合により生み出した福井口土地の全区画を賃貸収益化（2023年2月）
- ・京福電気鉄道福井事務所を移転し、福井駅前土地の利用可能性向上（2023年3月）
- ・福井市・坂井市におけるデマンド交通の拡大（京福バスグループ、2021年～2022年）
- ・賃貸物件を取得、「Kフォート福」営業（2022年8月）
- ・不採算事業（居酒屋事業）からの撤退（2022年2月）
- ・ホテル京福福井駅前のリニューアルが完了、恐竜ルームも新たに設置（2018年～2023年）
- ・嵐山線旅客運賃改定認可（2023年3月）
- ・嵐山駅はんなり・ほっこりスクエアのテナント入れ替えによるゾーニングの見直し  
(2023年3月)
- ・沿線創造事業部の設置による地域との更なる関係強化（2020年7月）
- ・福井地区の交通事業再編（2022年4月京福バス(株)が京福リムジンバス(株)を吸収合併、2023年2月京福バス(株)がケイカン交通(株)および福井交通(株)を完全子会社化）
- ・福井地区の生活サービス事業再編（2023年4月(株)京福コミュニティサービスが京福商事(株)を吸収合併し、京福不動産(株)に改称）



グループ会社の合併により 9 社を 7 社に再編成。あわせて資本整理を行い、福井地区交通事業 3 社を一体的に運営することで、実質 5 社による効率性の高い体制を構築。

### ③ SDG s に関する取り組み

- ・「嵐電教室」(小学生向け安全教室)、「嵐電沿線フジバカマプロジェクト」(絶滅寸前種の育成・保護活動)の継続実施
- ・ハイブリッド車両導入やエコドライブなど環境負荷低減策の実施(京都バス)
- ・「アクションプラン」(バス停周辺清掃、あいさつ運動)の継続実施(京福バスグループ)
- ・飼育が難しい希少生物の飼育と展示を実施(越前松島水族館)
- ・地域一体でSDG sを推進するプラットフォーム「ふくいSDG sパートナー」へ加盟(福井地区グループ各社)
- ・健康経営の推進、育児・介護休業制度の充実(京福グループ各社)

### (4) 2022 年度決算の概要

2022 年度における営業利益、当期純利益は、ともに過去最高であり、2023 年度においても、更にそれを上回ることを見込んでおります。

	2018 年度(参考)	2022 年度(実績)	2023 年度(予想)※
営業収益	12,406 百万円	13,324 百万円	14,300 百万円
営業利益	921 百万円	1,292 百万円	1,400 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	698 百万円	1,223 百万円	1,400 百万円
ROE	10%	14%	14%以上
有利子負債/EBITDA 倍率	3.6 倍	2.8 倍	2.8 倍程度

※2023 年 3 月期  
決算短信発表時

## 2. 「京福グループ中期経営計画 2025」(2023 年度～2025 年度)

### (1) 基本方針

京福グループは、3 年間にわたったコロナ禍への緊急事態対応から転換し、ビジネスチャンスを実際に生かすことで、成長を図ります。一方で、新しい事業環境に適応するとともに適切な投資を行い、安定的に経営を持続していくことを目指します。

- ・新たに生まれる人の流れを確実に取り込むことで、地域インフラとしての重要性向上を図ります。
- ・安全・安心に関する取り組みを着実に継続するとともに、これまでにない輸送の価値をお客さまに提供します。
- ・沿線地域の皆さまとの連携を通じて沿線の魅力を深耕・発信することにより、地域のにぎわいづくりに貢献するとともに、一定規模の不動産投資を行うことにより、よりよいまちと暮らしを創造していきます。
- ・ソフト・ハード両面で環境負荷の低減を目指すとともに、自然災害等のリスクにそなえることにより、持続可能で強固な組織体を目指します。

### (2) 具体的な取り組み

#### ①運輸業

- ・運輸安全マネジメントの着実な継続
- ・嵐山線に新型車両、回生ブレーキ等を導入 ※詳細は別途リリース
- ・嵐山線ダイヤ改正
- ・嵐山線バリアフリー化のさらなる推進
- ・電気バス・ユニバーサルデザインタクシーの導入
- ・老朽施設の建て替えなど適切な設備投資

#### ②不動産業

- ・収益物件の取得
- ・賃貸住宅ランフォートシリーズ（京都）、Kフォートシリーズ（福井）の展開拡大
- ・地域密着型の宅地分譲事業の強化
- ・福井地区社有地の活用促進

#### ③レジャー・サービス業

- ・施設運営体制の強化（嵐山駅ビル、帷子ノ辻駅ビル）
- ・嵐山線沿線の観光資源の掘り起こしと連携強化による誘客策の企画・実施
- ・AI のさらなる活用などによる情報機能の充実（ポートレース事業）
- ・自然・環境とふれあう新展示施設の開設（越前松島水族館、開館 65 周年（2024 年）目途）

#### ④福井地区運輸業（京福バスグループ）

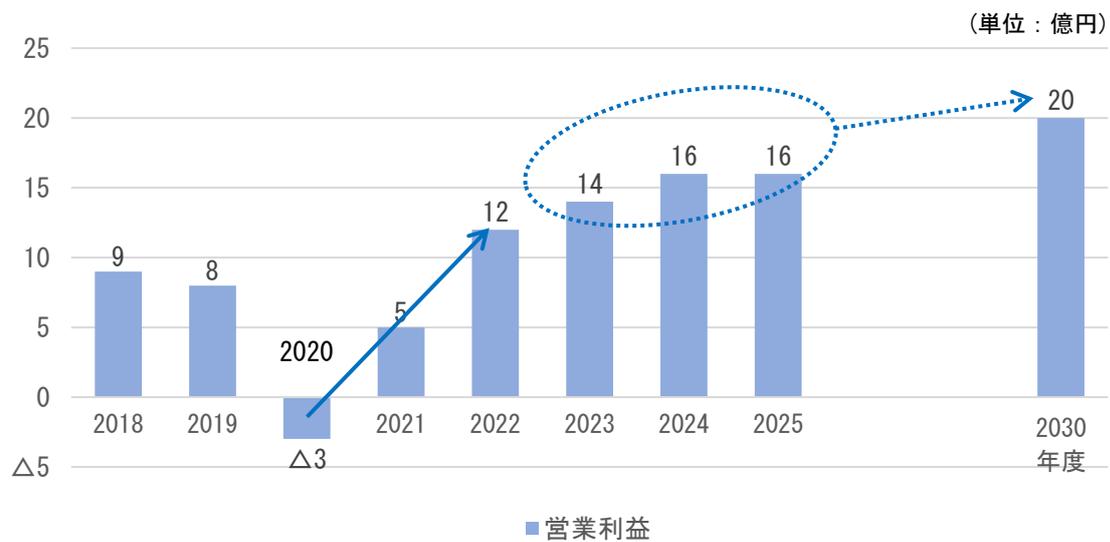
- ・交通系 IC カードの導入（2024 年春）
- ・北陸新幹線と福井県内に点在する観光地をつなぐ「二次交通」としての機能強化
- ・「ふくい MaaS」としてシームレスなモビリティサービス提供
- ・事業拠点のさらなる集約と営業強化

⑤管理部門

- ・誰もが働きやすい職場環境の整備
- ・K E S (Kyoto Environmental Management System Standard・環境マネジメントシステム) 認証に基づく活動の継続

(3) 定量目標

中期経営計画の期間中（2023 年度～2025 年度）に各施策を進めることで営業利益を確実に積み上げ、2030 年度において営業利益 20 億円を達成するとともに、各年度安定的に 10 億円以上の当期純利益確保を目指します。



以 上